



# The Y's Men's Club of KYOTO PRINCE

入会のご案内

京都プリンスワイズメンズクラブ

604-8083 京都市中京区三条通柳馬場中之町 2

京都YMCA三条本館

電話:075-231-4388 ファックス:075-251-0970

## ワイズメンズクラブは楽しい

ワイズメンズクラブはYMCAを愛する人たちの楽しい交わりと学びの場であり、ボランティアの知恵と力を生む母体でもあります。

ワイズメンズクラブの会員となるには、特別の資格は要りません。YMCAの活動を理解し支援しようという気持さえあれば、どなたでも入会できます。

## クラブの会員になると、こんな機会に恵まれます。

1. 毎月の例会でゲストの有益な卓話を聞くことができます。
2. 会員中の様々な職種の人と友人になり視野が広がります。
3. YMCAや地域社会への奉仕の活動に参加できます。
4. 全国的、国際的な交流に参加し見聞を広められます。
5. 会員の家族ぐるみの親睦・協力の機会も多い。

このような「会員としての特権」には義務が伴いますが、世間の遊興に比べればごく低廉な会費と、最小限例会への出席が義務づけられるほかは、時間とポケットマネーが許す限りでクラブの活動に参加すればよいのです。

ワイズメンズクラブの運営はたいへん民主的で、会員は皆公平に例会の当番を受け持ち、頼まれれば委員や役員を引き受けます。すべてはボランティアの実践と心得て、無理のない範囲で協力します。

ワイズメンズクラブの楽しさを味わうには、まず実際に例会に参加してみるのが一番です。

## ワイズメンズクラブ誕生の歴史

- 1920年 米国オハイオ州トレドのYMCAに青少年活動を行っているYMCAを支援しようという目的を持って一つのランチョンクラブ(昼食を共にする社会人のクラブ)が誕生。  
この時期、アメリカ各地にビジネスマンを中心にしたランチョンクラブが次々に生まれ、現存しているクラブではロータリークラブ、ライオンズクラブ、キワニスクラブなどが代表的なものです。
- 1922年 YMCAをサポートするクラブの活動が米国カナダにまで広がり、そこで運動の中心人物であった司法官ポール・ウィリアム・アレキサンダーが推進役となって『ワイズメンズクラブ国際協会』の名のもとに国際協会を結成。その後世界各地にクラブが結成され地域における奉仕活動を行うと共に国際間の友情を育んできました。
- 1928年 日本では大阪YMCAの主事奈良伝によって紹介され、最初のクラブである大阪クラブが設立され国際協会に加盟。  
1932年 『日本区』が組織され相互の交流を深めながら活動を展開。
- 1941年 時局の変化から日本は国際協会から脱退することになり、各クラブは地域において活動を継続しましたが、戦時下とあってその活動は自然休会の状態となりました。
- 1945年 敗戦荒廃する日本の青少年の健全な育成を目指すYMCA運動を支援するワイズメンズクラブを復興させ、新設するために各地で人々が立ち上がりました。
- 1946年 米国ペンシルバニア州ブラッドフォードで開催された国際大会で、中国代表の提案によって日本区の国際協会復帰が承認されました。  
1959年 アジア大会を東京で開催し、日本のワイズメンズクラブの組織力は海外の認めるところとなり、以後日本の復興経済成長の中で日本のワイズメンズクラブも発展し、国際協会が行う種々のプロジェクトに経済的な貢献をすると共に熱海、京都で2回の国際大会を開催。3人の国際会長を出すなど人的貢献も評価され様々な面での期待が強まりました。
- 1986年 京都で開催された国際大会の前年に京都プリンスワイズメンズクラブが京都地区で7番目のクラブとして設立されました。  
1997年 国内クラブ数も140クラブとなり、一層の発展をするために日本区は『東日本区』と『西日本区』に再編成され今日に至っています。
- 2017年 8月末現在、世界64カ国に1,400のクラブがあり、会員数は23,900となっています。京都プリンスクラブが所属する西日本区は、2018年2月現在、クラブ数85、会員数1,534名、京都部は19クラブ、会員数は517名となっています。

## [綱領と目的]

ワイズメンズクラブ国際協会は、イエスキリストの教えに基づき、相互理解と敬愛の思いに結ばれて、あらゆる信仰の人々が宗教信条の相違を越えて、ともに働く世界的友好団体であり、YMCAに対する忠誠心をともにしつつ、活発な奉仕活動を通じてリーダーシップを開発し、助長し、提供して、全人類の為よりよい世界を築くべく尽力するものである。

- 1) 個人的にもまた協同のわざとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
- 2) その他ワイズメンにふさわしい団体を支援する。
- 3) 地域社会や国際的な問題にかかわり、一党一派に偏しない正義をたえず追求する。
- 4) 宗教・社会・経済・地域一国際などの諸問題について会員を啓発し、これに積極的に参加連帯させる。
- 5) 健全な交友関係をつくり出す。

ワイズメンズクラブは次のような事業を行っています。

YMCAサービス	YMCAのいろいろな事業に積極的に支援、協力をしています。
ASF (Alexander Scholarship Fund)	YMCA主事の研修に補助金を出して支援します。
IBC (International Brother Club)	海外のワイズメンズクラブとブラザークラブを締結して、国際交流を図ります。
YEPP (Youth Educational Exchange Program)	ワイズメンの子弟高校生に留学交換ホームステイを通して異文化を体験させ、将来のYMCAのリーダーを育てます。
BF (Brotherhood Fund)	使用済の切手や現金を集めて、ワイズメンズクラブの代表が外国のクラブを訪問や大会に出席するための費用に充てるものです。それにより世界に貢献し得る国際性豊かなリーダーシップの育成に努力しています。
CS/TOF (Community Service/Time Of Fast)	国内外のYMCA及び地域社会に対し奉仕事業を行っています。各クラブも独自に地域社会に対し奉仕事業を行います。TOF(TimeOf Fast)すなわち断食又は食事を質素にして約したお金や、お年玉年賀葉書の当選切手を集めて、その資金にしています。
EMC (Extension, Membership And Conservation)	ワイズメンズクラブの新設や会員の増加、例会出席率向上など、クラブの維持発展のための事業です。

ワイズメンズクラブは次のような会合を持ちます。

- 例会 原則として会員全員が参加するクラブ例会が毎月行われ、夕食を共にして親睦を図ります。各界からのゲストを招いた講演会やメンバー同士による勉強会も行われ、その他にも各クラブがそれぞれ有意義なプログラムを企画しています。京都プリンスクラブは、例会場を原則として洛北の地グランドプリンスホテル京都で第一水曜日と第三水曜日の午後7時から午後9時まで開催しています。
- 部会 西日本区は現在9の部に分かれ、クラブが所属する部単位でメンバーやその家族が一同に会して部会を開き、親睦と研修の場を持ちます。  
京都プリンスクラブは、京都部に所属し、2018年2月現在19クラブ、517名の会員が在籍。東西日本区一大きい活発な活動をしています。そして、京都部会は毎年9月に開催されます。
- 西日本区大会 全国のワイズメンが集まり、さらに海外からの代表も加わり開かれるのが区大会で毎年6月に年度の締めくくりと、次年度に向けての大会が開催されます。東日本区でも同様でそこで同じ志を持つ会員が家族を交えて親交を深め合います。西日本区には2018年2月現在85のクラブがあり、1,534名のメンバーが活動しています。(東日本区は、2017年7月現在、61クラブ、886名)
- アジア太平洋大会 2017年2月現在、ワイズメンズクラブ国際協会は世界を8地域に分け、我々の東・西日本区はアジア太平洋地域に含まれ、隔年[奇数年]毎に開催されます。  
現在、アジア太平洋地域には、約13ヶ国、約500のクラブ、3,893名の会員が活動をしています。
- 国際大会 2年に一度[偶数年]開催される世界的な大会で世界のメンバーが一同に会して親交を深め合います。  
世界では2015年8月現在、約70ヶ国に1,486クラブ、26,524名の会員が活動をしています。



## ワイズメンズクラブがサポートするYMCAとは

YMCA :Young Men 's Christian Association (キリスト教青年会)

### YMCAの基本原則

私たち日本のYMCAは、イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、世界のYMCAとのつながりのなかで、次の使命を担います。

私たちは、

すべての人びとが生涯をとおして全人的に成長することを願い、すべてのいのちをかけがえのないものとして守り育てます。

私たちは、

一人ひとりの人権を守り、正義と公正を求め、喜びを共にし、痛みを分かちあう社会をめざします。

私たちは、

アジア・太平洋地域の人びとに対する歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます。

### YMCAの構成員

YMCAは会員によって構成され、日常の事業・活動は職員・教員(専従およびパート)、ボランティアおよびリーダーによって運営されています。運営責任者は総主事と呼ばれ、YMCA活動の執行責任を負っています。

全国には約6,600人の教職員と、約6,700人のユースボランティア※1、約1,400人のポリシーボランティア※2、約9,000人の賛助会員がいます。

全国35都市、200超の拠点で14万人が参加し、自らの学びや健康、社会課題の解決のため、様々な活動が行われています。

京都プリンスクラブの会員になると、京都YMCAの維持会員として自動的にYMCA活動を支援する会員に登録されます。

※1 ユースボランティア…野外活動や学習活動などのプログラムで子どもたちを指導するボランティア

※2 ポリシーボランティア…方針決定に関わるボランティア

ブランドロゴ



鳥が飛び立とうとする瞬間の姿を、アルファベットのYが想起される形に重ねあわせています。右上の赤い逆三角形には、YMCA正章に記された「全人」の精神と、YMCAが約束するブランド価値「みつかる。つながる。よくなる。」の両方が込められています。曲線と赤い色によって、生命の息づかい(生命感)と、希望ある豊かな社会を実現して行こうというYMCAのポジティブな姿勢を示しています。

愛称”ポジティブY”

## 略史

1844年	英国はロンドンの服地商であったジョージウィリアムズによって設立。
1880年	東京に始めて東京YMCAが設立。
1882年	大阪に大阪YMCAが設立。
1889年	京都に京都基督青年会が設立。
1903年	京都基督青年会(京都YMCA)として再建され、今日に至る。

以後第二次世界大戦を挟み幾多の苦難を乗り越え現在に至っています。

## 京都YMCAの使命

- ・イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、青少年と共に精神・知性・身体 of 全人的な成長を促す運動をすすめます。
- ・人々との出会いを通じ、互いの人権を尊重し、生涯にわたって共に学び合う学習活動を展開します。
- ・地球的な視点から、望ましい環境の実現につとめつつ、いのちあるすべてのものが共に生きる平和な世界を築く運動を展開します。

京都YMCAの5つのビジョン～京都YMCAの使命実現に向けて以下の5つのビジョンを柱に事業を展開しています。

### ① 青少年の育成

少人数化する家族、地域コミュニティの希薄化、学校2学期制などの教育現場の変化を踏まえ、多様な青少年ニーズに応えうる事業を展開します。

### ② 生涯学習の推進

知識や技術を社会に還元し、生き甲斐づくりや公益活動の質の向上につながるよう、人々が生涯を通じて自己向上の努力を尊び、それを正當に評価してもらうことのできる生涯学習プログラムを展開します。

### ③ ボランティア社会の構築

京都YMCAの根源的な活動として、公益事業の担い手としてボランティア社会の成熟を図る取り組みを会員の総力を挙げて進めます。

### ④ 多文化共生社会の成熟

互いの人権や価値観を尊重し、歴史性、文化性、地域性、個性といった自らのアイデンティティを大切にしながら、相互理解と交流を深め、地域に住む外国人の生活全般にわたる課題を共有し、多文化が共生する社会を築いてゆきます。

### ⑤ 福祉社会の構築

行政や学校、家庭等との連携・役割分担を図りつつ、社会の新たなニーズを的確に捉え、地域の福祉の中核を担う人材育成とともに福祉社会の基盤づくりを進めます。



## 京都YMCAの活動

### ■こどもプログラム

キャンプ

水泳

サッカー

バスケットボール

ドッジボール

体操

ダンス

発達障がい児サポートプログラム

英語(中学生・高校生)

英語(幼児・小学生)

アフタースクール(学童保育)

### ■大人プログラム

水泳、フィットネスジム

スタジオレッスン(ヨガ・樹林気功・卓球・ダンス)

英語(一般プログラム)

英語(プライベートレッスン)

英語(通訳基礎)

専門学校

ボランティア

- 子どもに関わるボランティア
  - ①キャンプボランティア
  - ②発達障がい児サポートボランティア
  - ③アフタースクール(学童保育)ボランティア
- 国際交流のボランティア
  - ①国際交流ボランティア
  - ②日本語チューターボランティア
- 地域社会でのボランティア
  - ①ボランティアビューロー
  - ②ワイズメンズクラブ

## 京都プリンスクラブに入会するには

1. 入会を希望する人は、原則として紹介者(スポンサー)の帯同でクラブの通常例会に連続してゲストとして2回出席していただきます。
2. 例会に連続して2回出席していただきますと、入会に関するオリエンテーションが開催され入会意思確認がされます。
3. ご入会意思確認がされますと、クラブの規定に基づきあなたの入会申し込みが役員会並びに全会員の承認をもとに審査承認されます。
4. 入会が承認されますと、原則として承認月の翌月の第一例会で入会していただくこととなります。入会式には既婚者の場合はご夫婦で出席していただくことが望ましいことになっています。
5. 入会式でバッジの装着が許され晴れてY'S MENとして活動をしていただくこととなります。

## 入会と入会後に必要となる費用

入会金	20,000円	
会費	14,000円	(月当り)(徴収は、郵便振替と銀行振込があります。)
YMCA維持会費	20,000円	(年間)クラブに入会されますと自動的にYMCAの維持会員として登録されます。但し、入会月により、YMCAの会計年度の関係で10月から翌年3月までの入会の場合は半額の10,000円

その他、プログラムにより別途支出が必要となることがあります。

## 用語

ワイズメンズクラブには特別な用語が多々ありますが、日常的に使用する用語として

- 「メン」 会員本人を指す言葉です。(性別は問いません)
- 「メネット」 会員の配偶者を指し通常女性を指します。会員に入会されますとメネット会員に自動的に入会が承認されます。
- 「コメット」 会員の子弟を言います。
- 「スポンサー」 クラブ入会を勧め、貴方を会員に紹介するワイズメンのことで、必ずしも京都プリンスクラブの会員のみを指すわけではありません。

## 京都プリンスクラブ入会申込書

年 月 日

お名前(メン) (漢字、ローマ字、生年月日)	
お名前(メン) (漢字、ローマ字、生年月日)	
住所	
職業	
趣味・特技	
家族構成 (誕生日)	
結婚記念日	
その他	
紹介者	